

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	32	利用者の中で、隠れていた病気が悪化し、末期を支援することがあった。入院体制が難しい状況もあり、重度化や看取りに対するケアの力は持っていたい。また、医療面に関わる安心感を家族に与えたい。	重度化や看取りに対するケアの研修(リモート研修)があれば積極的に参加し、計画的に内部研修を行い職員全員のスキルを上げたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りの研修(医療講話やZOOM研修)参加。 ・移乗、移動、チェアー浴、清拭等、技術演習を実施。 ・食事形態・栄養摂取支援の工夫継続。 	6ヶ月
2	47 48	コロナ禍が続いている。施設内では利用者個々が役割を持つ活動を続けているものの、外出等が難しい。ストレスや運動不足で、心身の低下が益々懸念される。	利用者の楽しみを取り入れた活動を工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の他にホーム内で出来る活動を一つでも多く取り入れる。 ・楽しみが持てる個別的活動の工夫や実施時間の検討。 ・運動の継続。 	3ヶ月
3	3	地域の方々へ、認知症の人の理解を一緒に深めて頂くため、講座や話し合いの場を設ける予定であったが開催されなかった。また、グループホームの特性(認知症対応型共同生活介護)をもっと知ってもらいたい。	グループホームが持つ機能や技術を地域へ発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式を試み、講話や相談等を行ってみる。(地域の方が集われる、同敷地内地域福祉活動センターにて実施) 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。